

コロナ時代のトラベルクリニックは どうあるべきか？

第4回 静岡中部渡航医学セミナー
2021.10.30 ハイブリッド開催

田中 敏博

JA静岡厚生連 静岡厚生病院
小児科/渡航ワクチン外来



静岡厚生病院 渡航ワクチン外来

2013年12月、小児科内に開設（常勤1名）

- 「渡航者の安全と健康をサポートする」
- 対象：小児/成人を問わず
- 予約：曜日/時間を限定せず、極力患者の都合に合わせて調整
- 輸入ワクチンを含めて対応
- 総合的にみて、安全に渡航できる状態かどうかの確認
 - ✓ 予防接種歴の確認：母子手帳
 - ✓ MMRV/A・B型肝炎の抗体検査
- 健康診断、証明書発行、各種処方、帰国後の対応、他
- 陰性証明用 PCR 検査

8年を経て感じてきた変化

- 中国中心だった企業派遣の赴任先が、インドや、タイ、ベトナム、インドネシアなどの東南アジアへシフト
- 検疫所や保健所等を介しての受診と、接種実績のある企業からのリピート受診が増加
- 接種ワクチン指定の受診から、“相談の上決定”のパターンの増加
- 「会社の指定でなくても必要なものは自費で打ちます」という方の増加
- 母子手帳持参者の増加
- 旅行者の事前相談の増加
- 渡航後の受診者の増加

コロナは渡航の構図を大きく変えた...

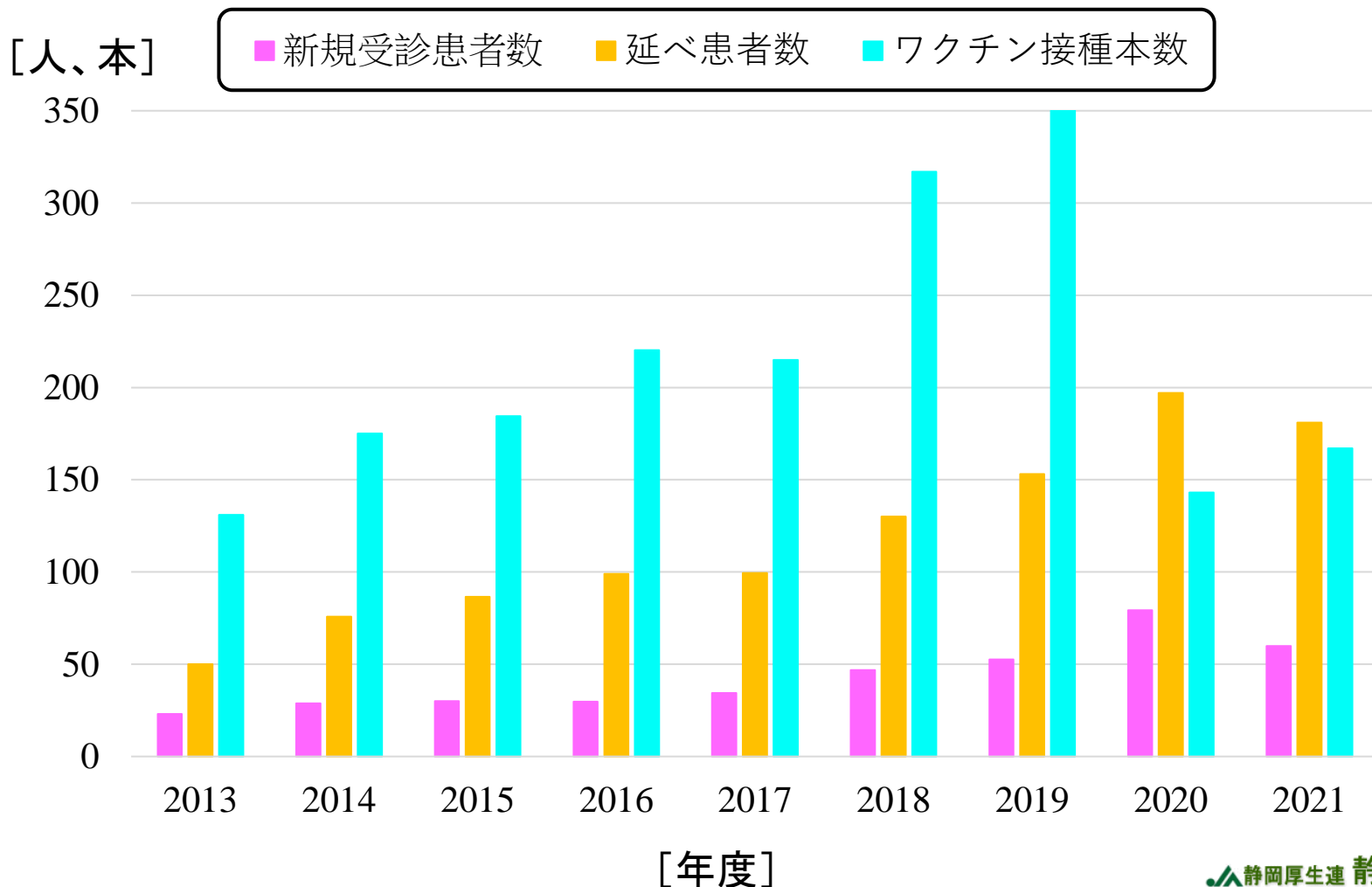
そして渡航ワクチン外来は...

- 2020年2～3月:「その時に備えて」
- 2020年4～5月: ...
- 2020年6～7月: 静寂...

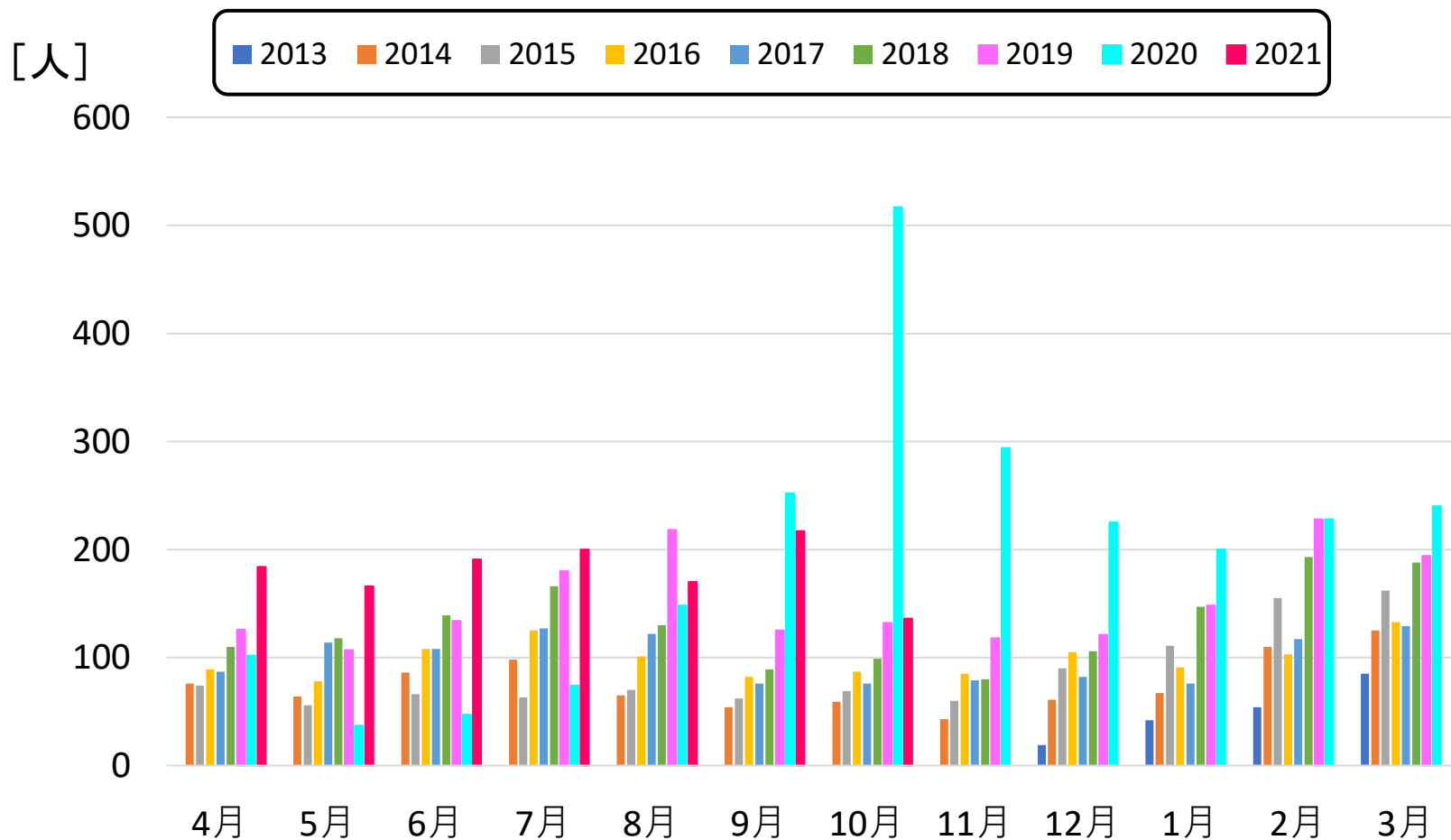
そして...

- 徐々に、利用者数の回復
- 時々、渡航ワクチンの接種
- ごくまれに、ビザ申請のための渡航前健康診断
- **渡航用の陰性証明のためのPCR検査**

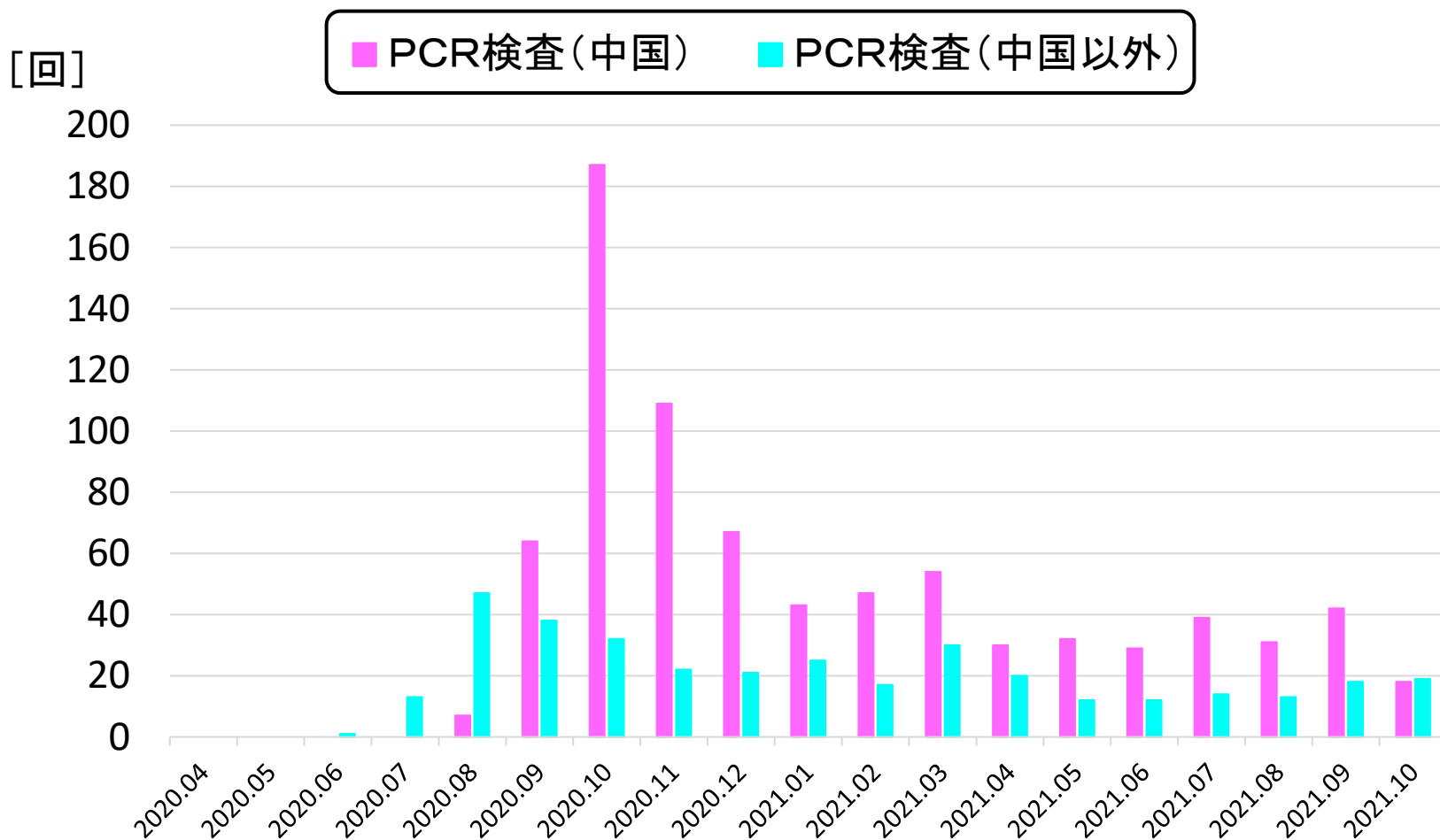
静岡厚生病院 渡航ワクチン外来 年度別月平均データの推移



静岡厚生病院 渡航ワクチン外来 年別月別 延べ患者数



静岡厚生病院 渡航ワクチン外来 月別 PCR検査件数の推移



PCR検査による陰性証明...？

- 今日の時点で検査した結果が陰性でも、結果を受け取る2日後、それ以降の飛行機に乗る時には、感染者かも知れない
- **感度:70%** = コロナの患者を1,000人検査しても、700人しか見つけられない/300人は見逃してしまう
- **特異度:99.9%** = 健康な人を1,000人検査したら、間違っって一人“コロナ”と判定してしまう

「そんな意味合いの検査、そんな程度の実力の検査ですが、
国と国との約束で、割り切って対応しているんです…」

現在の渡航ワクワクン外来

- すべて、コロナを軸として海外渡航とそれに関連した事項、業務が動いている
- 海外渡航に向けた意識が、コロナに極端に傾倒した状態であり、コロナ以外の感染症への対策や、健康/安全に対する配慮が希薄になっている
 - ✓ コロナのPCR検査は受けるが、各種予防接種は受けていない
- 渡航に向けた“雑談”をする余裕がお互いにならない
 - ✓ 持病のこと、現地での医療機関の利用の仕方、虫対策、、、
 - ✓ 渡航に向けたワクワク、実際のびっくりエピソード、、、
- コロナを教訓にして、VPDへの意識が高まった渡航者/企業に遭遇するけれど、、、**かすかな希望**

現在の心境

- 本来の趣旨から大きく逸脱した業務が中心になっている
- 患者＝渡航者の方々との関係が希薄になった気がする
- けれども、“儲かって”しまっている
- 「安全で健康な海外渡航のお手伝い」という理念、目的がないがしろにされ、「検査陰性」を高いお金で買わせているだけ

正直なところ、
以前のような充実感はなく、
楽しくもない...

コロナがもたらしたオンラインの時代...

それでも渡航する



1回の渡航の重みの増大



今だからこそ、
本来のトラベルクリニックの重要性も増大！



コロナ時代のトラベルクリニック

- コロナはあまたある感染症の一つに過ぎない
- 「安全で健康な海外渡航のお手伝い」の精神を見失わないでいたい
- デジタル化を推進して、飛行機にも時代にも乗り遅れないように...

